

2026年5月15日

## 国産生成 AI 基盤開発をリードするストックマーク社主導の 「日本企業の暗黙知／社内データ AI-Ready 化プロジェクト」へ参画

住友化学は、このたび、ストックマーク株式会社（以下、「ストックマーク社」）が主導する「日本企業の暗黙知／社内データ AI-Ready 化<sup>\*1</sup>プロジェクト」へ参画いたします。AI ネイティブカンパニーを目指す当社は、本プロジェクトへの参画を通じて、AI 駆動型モノづくりによる価値創造を加速します。



ストックマーク社は、国産生成 AI 基盤の独自開発や生成 AI サービスを提供する企業です。同社は、経済産業省と国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下、「NEDO」）が実施する国内の生成 AI 開発力強化を目的としたプロジェクト「GENIAC<sup>\*2</sup>」第 4 期における「製造業データ等の AI-Ready 化に関する研究開発」への採択を受け、国内 16 社と協業し、「日本企業の暗黙知／社内データ AI-Ready 化プロジェクト」を開始しました。

昨今、企業活動における生成 AI 活用では、公開データを中心に学習した汎用 AI だけでは専門性・信頼性に限界があるとされ、次のフェーズとして社内の非公開データ活用が急務となっています。一方、製造業の現場では、社内の非公開データの多くが図面・マニュアルなどの非構造化データとして管理されており、熟練者のノウハウも暗黙知化しやすいことから、現状のままでは AI 活用が難しい

ことが指摘されています。ストックマーク社は本プロジェクトにおいて、非構造化データやノウハウなどをAIが学習・活用できる形式に変換する「AI-Ready化」を推進することで、これらの課題を解決することを目指しています。住友化学は、本プロジェクトに参画し、AI駆動型モノづくりに向けた、エンジニアリングチェーン全域の意思決定を支える基盤整備に取り組みます。当社が開発・設計から生産に至るまでの各工程で蓄積してきたディープな情報やデータ、ノウハウをAI-Ready化することで、AIによる生産性の飛躍的な向上だけでなく、新たな材料の開発および生産プロセスの高度化も実現します。

住友化学は、25年4月からスタートした中期経営計画（25～27年度）において、「DX NEXT empowered by AI」を掲げ、AIを新基軸としつつ、DXの取り組みを次なるステージへと引き上げることを計画しています。これからも、DXによる競争力強化と新たな価値創造を実現し、持続的な成長を目指してまいります。

#### 当社のプロジェクトテーマ

「AI駆動型モノづくりに向けたAI-Ready化」—エンジニアリングチェーン全域の意思決定を支える基盤整備—

- ※1 データを、分かりやすい構造や適切なサイズ、高い品質などを備えた、AIが利活用しやすい状態に整えること
- ※2 経済産業省とNEDOが主導する、日本の生成AI開発力を強化するためのプロジェクト「Generative AI Accelerator Challenge」の略称。ジーニアック。

#### <ご参考>

2026年5月15日付 スtockマーク社プレスリリース

日本を代表する16社がストックマークと「AI-Ready化」を開始

『日本企業の暗黙知/社内データ AI-Ready化プロジェクト』

～「GENIAC」第4期にて日本の基幹産業が複雑データや暗黙知の活用を本格化～

<https://stockmark.co.jp/news/20260515>

2025年6月16日付 当社プレスリリース

「AIネイティブカンパニー」の実現に向け、新たなDX推進体制をスタート

<https://www.sumitomo-chem.co.jp/news/detail/20250616.html>

以上



コーポレートコミュニケーション部  
〒103-6020 東京都中央区日本橋2-7-1 東京日本橋タワー  
TEL:03-5201-0220 Email: sumika-kouhou@ya.sumitomo-chem.co.jp



公式 YouTube